

お詫びと訂正

本書「2027 年度用 高校受験 早稲田実業学校高等部 7 年間スーパー過去問」中の 2026 年度入試 数学 **3**(2) の P8 の解答および P10 の解説に誤りがございました。ご購入くださいましたお客様には、大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。ここに謹んでお詫び致しますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

2026 年 9 月 (株)声の教育社 編集部

記

早稲田実業学校高等部
2026 年度入試 数学 **3**(2) の解答・解説について

P8 解答

(誤) (2) 44 組 → (正) (2) 34 組

P10 解説

(正)

(2) $\langle m \text{ と } a \text{ の組の数} \rangle$ A の箱に m 本の当たりくじを入れるので、A の箱に入れるくじの本数は最小で m 本であり、 $a \geq m$ である。また、当たりくじが 5 本より、当たりでないくじは $10 - 5 = 5$ (本)だから、A の箱に入れるくじの本数は最大で $m + 5$ 本であり、 $a \leq m + 5$ である。よって、 $m \leq a \leq m + 5$ となる。さらに、 $m = 0, 1, 2, 3, 4, 5$ のいずれかであり、片方の箱に全てのくじを入れないので、 $a = 1, 2, 3, \dots, 9$ のいずれかとなる。 $m = 0$ のとき、 $0 \leq a \leq 5$ となり、 $a = 0$ はないから、 $a = 1, 2, 3, 4, 5$ で、5 組ある。 $m = 1$ のとき、 $1 \leq a \leq 6$ だから、 $a = 1, 2, 3, 4, 5, 6$ で、6 組ある。 $m = 2$ のとき、 $2 \leq a \leq 7$ だから、 $a = 2, 3, 4, 5, 6, 7$ で、6 組ある。 $m = 3$ のとき、 $3 \leq a \leq 8$ だから、 $a = 3, 4, 5, 6, 7, 8$ で、6 組ある。 $m = 4$ のとき、 $4 \leq a \leq 9$ だから、 $a = 4, 5, 6, 7, 8, 9$ で、6 組ある。 $m = 5$ のとき、 $5 \leq a \leq 10$ となり、 $a = 10$ はないから、 $a = 5, 6, 7, 8, 9$ で、5 組ある。以上より、 (m, a) の組は、 $5 + 6 + 6 + 6 + 6 + 5 = 34$ (組)ある。